






事例名*	いづれかを削除*	記入者氏名*	記入日*
<p>経験プロット：ストーリーをUXDに活用する手法の提案と実践</p>	<p>自薦</p>	<p>脇阪善則</p>	<p>2014年 11月 17</p>
<p>推薦理由*： HCD活動として優れている点、今後のご自身の活動において参考になる点などを記述して下さい。</p> <p>HCDやUXDを実践するための新しい手法として、UXリサーチの分析結果からストーリーを作成する「経験プロット」という手法を提案した。これまでストーリーやシナリオはHCD、UXDの分野で活用されてきたが、この手法を用いることによって効率よく一定のクオリティが担保されたストーリーを作成することができる。</p> <p>基本となる考えはWhitney Quesenberyの著作「ユーザーエクスペリエンスのためのストーリーテリング」に基づいている。本事例に先だって、提案者の脇阪はUX TOKYOのメンバーと共にこの著作を和訳し、出版後にはワークショップを度々開催してストーリーテリングの実践を行ってきた。この実践を通じて生まれたのが「経験プロット」である。手法そのものだけでなく、最新のUX関連書籍を翻訳し、ストーリーテリングの手法を日本で紹介し、ワークショップによる実践を通じて得られた知見を手法化した一連の活動を推薦したい。</p>		<p>ISO9241-210で規定するプロセスの特定*： 5つのサブプロセスの中で該当する部分を特定し 活動の詳細をご記述く</p> <p>「経験プロット」は、UXリサーチの分析結果の表現としてのストーリーを作成するための手法であり、ISOのサブプロセスの中では特に、「利用状況の把握」から「設計における解決案の作成」までのフェーズに対応している。</p> <p>ストーリーはある種、ユーザー体験のプロトタイプともいえる。このストーリーを作成するための調査・分析から、プロトタイプを作成するところまでが本手法がカバーする領域であり、HCDのプロセスに対する新しいアプローチであるといえる。</p>	
<p>最終成果物の概要*： 概要を説明し 成果物を示す画像を貼ってください。ウェブページの場合はURLを明記して下さい。</p> <p>(1) 書籍の翻訳：UX Tokyoのメンバーと共同でストーリーテリングの書籍を翻訳した。 (2) 手法の提案：ストーリーテリングを活用したUXデザイン手法「経験プロット」を提案した。 (3) 手法のアーカイブ：学会で提案した手法「経験プロット」をHCDライブラリの事例編に寄稿した。</p> <div data-bbox="159 1190 815 1391"> </div>		<p>専門家としての評価*： 評価するポイントやできばえ、表彰による波及効果などをご記述ください。</p> <p>海外の文献を翻訳して日本に紹介し、ワークショップによる実践を通じて、まだ日本に馴染みのなかったストーリーテリングの普及に一役買っている。その上で、ストーリーテリングを実践するための新しい手法を提案し、HCDおよびUXデザインのプロセスに対して新しいアプローチを提案しているところが評価に値する。更には、こうした活動を書籍や論文にまとめて、普及に努めている。こうした自主的な研究・実践を評価することにより、HCD活動の幅が広がり、HCD領域の発展につながることを期待する。</p>	

 <p>(1) 書籍の翻訳 (2) 手法の提案 (3) 手法のアーカイブ</p>  <p>経験プロットのワークショップ</p>	<p>同意事項*： ご推薦いただいた事例は、推薦者名と共に、HCD-Net内で公開いたします。公開の可否について、以下のいずれかを○で囲んでください。</p>
<p>受付番号：04</p>	<p>承諾する</p>

<p>事例名*</p> <p>経験プロット：ストーリーをUXDに活用する手法の提案と実践</p>	<p>参考資料：以下の欄内に添付してください。画像は合計1GB以内にしてください。</p> <p>(必須) 本申請に記載されたプラクティスの成果物（製品やウェブサイトなど）の画像。</p> <p>(任意) 本申請に記載されたプラクティス事例が紹介されている新聞・雑誌・ウェブページの記事や論文など。</p>	
<p>(1) 書籍の翻訳</p>	<p>(2) 手法の提案</p>	<p>(3) 手法のアーカイブ</p>
<p>ユーザエクスペリエンスのためのストーリーテリング (丸善出版)</p> <p>UX Tokyoのメンバーと共同でストーリーテリングの書籍を翻訳した。</p>	<p>日本デザイン学会 第59回 春季研究発表大会にて新手法を提案</p> <p>発表タイトル「ストーリーテリングとユーザーエクスペリエンス」</p> <p>ストーリーテリングを活用したUXデザイン手法「経験プロット」を提案した。</p>	<p>共著で「ストーリーテリングとその活用事例」を執筆した。</p> <p>学会で提案した手法「経験プロット」をHCDライブラリの事例編に寄稿した。</p>
		
<p>受付番号：04</p>	<p>経験プロットのワークショップの様子</p> 